



がっこうきょういくもくひょう
【学校教育目標】 みづか かんが こうどう とみすはら こ いくせい
自ら考え、行動する富洲原っ子の育成

いちぶみなお
「とみすはらっこの きまり」を一部見直しました

さくねんど
昨年度まで「とみすはらっこのきまり」に

「かみの毛をそめたり、パーマをかけたりしません。また、つめをのばしたり、マニキュアをつ
けたりしません。」

という決まりがありました。しかし、職員で話し合いを進める中で、

「染髪やパーマ、化粧等は、小学生の子ども自らの意思だけでできることではない。」

「ダンス等の習い事で染髪が必要な期間があり、そのような場合には学校として認めてきた事
実がある。」

「保護者の判断で行っていることを、子どもの決まりとして指導するのは難しい。」

という意見が出されました。

以上のことから 本年度より、この決まりを「とみすはらっこのきまり」から削除しました。

ひと昔前までは、「染髪・パーマや化粧等＝非行」というイメージがありました。現在でも主に
接客業において染髪を禁止しているところが多いのは、日本の社会において髪の毛を染めることの
イメージがあまり良くないからだと思われます。

一方で、ファッションの一つとして染髪をする人も多く、時代の流れとともにイメージが変化してい
ることも事実です。また、学校には外国にルーツがあるなかまや、様々な宗教を信じるなかまもいま
す。多様性が叫ばれる時代であり、人それぞれの自己表現や文化の違いを認めるべきだという考
え方もあります。

しかし、学校としては、「小学生における染髪・パーマ・化粧等は推奨できない」という考え方です。

染髪・パーマ・化粧等を推奨できない理由は、次の3つです。

ただ きんせんかんかく そだ
①「正しい金銭感覚が育たない」

小学生段階での染髪・パーマ・化粧等は、どうしても必要なことではありません。おしゃれのため
に、多額のお金を払うことが、大人になった時の 健全な金銭感覚を養うとは思えません。

②「成長の段階で優先させるべきことは他にある」

子どもは大人と違って成長段階です。健全な成長のためには、十分な睡眠や栄養、正しいものの見方、豊かな文化が必要です。今必要なことを、しっかりと与え続けなければ健やかに成長しません。小学生にとっては、髪を染めたり、パーマをかけたり、化粧等をしたりすることより必要なことがたくさんあります。外見よりも中身の成長を優先させるべきです。

③「様々な危険があると予想される」

子どもの染髪やパーマ、化粧等は、おしゃれ以外の捉えられ方をすることがあります。目をつけられやすくなり、非行グループから攻撃を受けたり、非行グループに誘われて仲間入りをしたりする危険性が高くなると考えられます。

学校としては、以上のような考え方である、ということを保護者の皆様にご理解いただきたいと思います。

様々な考え方や意見に耳を傾けていただき、最終的に子どもの将来を考えた時に、どうすることが良いのか、ということをご家庭でしっかり判断していただくことが一番大切です。

尚、お子さんに染髪・パーマ・化粧等が見られた時には、担任から保護者の皆様に改めて学校としての考え方を、お話をさせてもらうことになります。学校の考え方にご理解をいただきますようお願いいたします。

※「つめをのばさない」は、決まりから削除し、保健指導や学級指導、たよりを通じて子ども達に指導を行っていきます。体育や休み時間の遊び等、小学校における様々な活動の場面を考えると、爪が割れたり、友達を傷つけてしまったりすることがあるため、爪が伸びていると大変危険です。ご家庭でも、お子さんの爪の様子を時々確認してください。よろしくお願いいたします。

日常の学校の様子は、「富洲原小学校ホームページ」にて紹介しています。

ぜひご覧ください。

